






様式第4号（第5条関係）

議長	事務局長	次長	書記
			 

平成29年8月28日

箕輪町議会議長 木村英雄様

議会活動活性化委員長 荻原省三



箕輪町議会（委員・議員）派遣結果報告書

箕輪町議会議員の派遣等実施要領第5条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研修名	議場の開放を含めた利活用及び住民懇談会、議会報告会の取り組み
研修の期間	平成29年7月25日（火）から26日（水）
研修の場所	埼玉県三好町議会、所沢市議会
成果 （具体的に）	<p>議場の利活用、住民懇談会、議会報告会の先進議会である三芳町議会、所沢市議会の取り組みを視察した。</p> <p>議会として、「開かれた議会」をめざし、普段見る機会の少ない「本会議場」をコンサート会場として公開することで、住民にとって「開かれた議会、信頼される議会」を目指した取り組みである。また、傍聴する機会を増やす効果がある。</p> <p>議会をより身近に感じてもらう為の議場の活用として好評とのことであった。</p> <p>議会報告会については、議会活動の状況の説明、地域住民とともに地域社会の活力ある発展を目指し、出された意見について、どう議会活動に反映させていくか、必要に応じて議会内の調査及び執行部へ通知（報告）しているとのことであった。</p> <p>夜間議会、休日議会の評価は高いが、傍聴者が少ない為に、今後の課題は多いとのことであった。</p> <p>（提出された各委員の報告は別紙のとおり）</p>
委員会名	議会活動活性化委員会
派遣議員名	荻原、唐澤千洋、小島、中澤、伊藤、釜屋、小出嶋議員

平成29年8月10日

箕輪町議会議長 木村 英雄 様

箕輪町議会議員 唐澤 千洋



箕輪町議会活動活性化委員会視察研修結果報告書

箕輪町議会活動活性化委員会視察研修結果について、次のとおり報告します。

記

研修名	議会活動活性化委員会視察
研修の期間	平成29年7月25日～7月26日 2日間
研修の場所	埼玉県三芳町及び所沢市
成果	<p>I 議場の開放について</p> <p>①平成23年当時から議会活動活性化委員会の研究課題の一つとしてあがっていた議場の開放については、急務の課題とされず視察研究が後回しになっていました。平成29年4月の議会内の委員会構成が変わり、当委員会の先進地視察の課題の一つとされ、この程視察に至った。</p> <p>②過去に課題とされた際にも議場の開放については異論が多く、当町の議場の位置、施設規模、構造などから急務のことでないとされてきた。</p> <p>③コンサートなど文化センターが行うべき事業をして「議場の開放」と言えるかであるとされてきた。</p> <p>④視察先の反応は、異色の試みに住民反響はあったが、そのことで傍聴者が増えたと言えない様子が感じられた。会場が変わったに過ぎない。</p> <p>II 夜間議会・休日議会の開催</p> <p>①議会傍聴の機会拡大が主眼だが、傍聴者が少なく、今日では10数人に過ぎない状況にある。</p> <p>②むしろ懇談会、ふれあい座談会の方に期待を感じる。</p> <p>III 考査</p> <p>①都市近郊の人口急増町の環境の違いを考査すべきと感じる。</p>

荻原活性化委員長

活性化委員会、視察報告 平成29、7、25～26日
埼玉県 三芳町、所沢市 議会

報告 小島常男

議会改革が進んでいるところの、視察

7月25日 三芳町議会

埼玉県の南に位置し、首都圏に30kmほど、人口3万8300人程で、
財政力指数 1,037のため 普通交付税や臨時財政対策債はない。
首都圏に近いことから、東京に通うサラリーマンが多い。

質問事項

I ・議場を開放し、コンサートを実施した経過、狙いは・・・

平成14年文化会館を会館以来、小学生中心のアウトリーチを実施してきた。

平成27年自主開催事業を、教育委員会、文化会館との共催で実施してきた。

平成22年から入場料無料のロビーコンサートを25年から、病院、ショッピングセンター、福祉施設、史跡などで開催するようになったことが、始まり。

・計画的に実施しているか、年何回実施しているか

議会では、20年度から議会改革を進めてきて、「開かれた 信頼される議会」を目指して議場コンサートをすることとなった。

・年の開催は1回のようなのです？。

・議会としての対応

文化会館の事業として、実施しているロビーコンサートを議場で開催したいとの依頼があつて議会としても、普段見る機会の少ない議場開放で、開かれた議会の一環として、議会運営委員会に諮り、開催許可を決定。定例会会期中の1日を午前中で散開し午後コンサートを実施した。3回目は閉会中に実施した。

・今後の予定は 続けたいようだが、具体的に確認できなかった。

課題 意に沿わない席の方、長時間、並ばせる方などの苦情がある。

ピアノを必要な時、電子オルガン等の搬入となる。

だんだん、来場者が減少している。

*コンサートの模様を、いくつか場面を写真で、紹介されていた。

*議場を視察したところ、箕輪町の議場より広いと感じた。

II 夜間議会、休日議会を開催しているが

・開催の経過と狙いは

住民の傍聴の機会を容易にすることと、開かれた議会と活性化に資する趣旨で平成20年9月議会から、毎年9月定例会に実施している。

休日議会は、平成21年3月議会から、毎年、3月議会に実施している。

当日の質問者は7人までとして、夜間の質問者は3人までとする。

夜間議会の開催日及び質問者は、議会運営委員会で決める。

- ・住民の反応は、傍聴に来てよかった、機会を増やしてほしいとの高評価が多いが、傍聴者が少ないPR方法を工夫してほしいなどの意見
夜間、休日議会取り組んで傍聴者は増加していない、議会への関心度は低い。
- ・今後の課題は、議会への関心度を高めたい・議員選挙の投票率低い40%台
住民のわかりやすい議会運営（行政用語、配布資料）
開催時間、内容、周知方法を検討。

III 議会報告会について

開催趣旨は、議会の多面的機能を発揮するため
住民参加と協同の町づくりの促進議会活動の状況を地域に出向いて住民に直接報告説明をする。

議会活動に対する意見等、町政に対する提言など話し合い、政策実現に資する。

方法 2班に分けて、2日間に分けて公民館で実施、各班の代表者を置き、報告会資料は、広報広聴常任委員会で作成。

進行は、多くの方の発言を願い、1問1答方式で実施

報告開会終了後は、成果、効果について各班でレビュー全体を反省総括する。出された意見、要望は所管の委員会か全員協議会で協議し、一般質問にも反映に努める。町執行部への要望意見は、議長から町長らに申し入れ、必要な対応を求める。

後日回答が必要なものは、議長から質問者に一括して文書で概ね1か月以内に返答する。

各会場のメンバーは、ポスター等に明示する。 等

7月26日 所沢市議会

埼玉県の南に位置し、飛行機発祥の地としている。東京に近く多く東京方面へ通勤者が多い、プロ野球球団の本拠地であり、活気がある。人口は34万3千人余り、人口減少はまだないようです。

I ・議場コンサートについて

- ・経過と狙いは？

議会を身近に感じ、興味をもって、議会傍聴を促すために、平成27年12月定例会初日開催、(市制)65周年を記念して、議場コンサートを始めた。市内で活躍する音楽家や学生に

演奏を依頼し、様子をインターネットで中継するほか、市庁舎ロビーと8階大会議室前のモニターで配信した。平成28年12月定例会で開催した。埼玉県立芸術総合音楽科の生徒によるフルート2重奏を行った。

・年1回の模様です。

・今後の方向は

議会をより身近に感じてもらうための議場の活用の一つであり、おおむね好評なため、市内で活躍する音楽家や学生への演奏の場の提供といった視点も含め、今後も継続の考え。

II 住民と議員との懇談会(みみ丸カフェ2016)について

・意見交換会の経過と狙いは

議会をより身近に感じ、興味を持っていただくため、議会の広聴広報機能強化の一環として、ワールドカフェスタイルによる市民と議員との懇談会「みみ丸カフェ2016」を平成28年7月31日に開催した。

・実施方法、住民の反応は

ファシリテーターに早稲田大学人間科学学術院教授を迎え、無作為抽出市民30人と早稲田大学学生13人と広聴広報委員11人の計54人で参加者は、地元のゆるキャラ名を冠した10テーブルに分かれて、意見交換の纏めとして、個人の意見を付箋に記入して模造紙に貼付した。預かり保育、地元産の狭山茶の提供など参加しやすくした。所沢の魅力、自慢できるもの、魅力ある町にはどうすれば、魅力ある町にあなたのできることは、など、、、

・今後の課題は、

早稲田大学や市内の高校の学生が参加し、おおむね好評、出された意見の活用が課題であるが、様々な形で展開、活用できる可能性を持つ、ツールであると、今後拡大したい。

III タブレット導入、経過・狙いは

・市民に分かりやすい議会運営に資するため議会情報の発信とICT技術の積極的活用を推進するために、平成26年度に「タブレット端末導入に関する作業部会」を設置し、平成27年度には「ICT化推進基本計画策定に関する作業部会」を設置した。

計画の具現化に関し市民へ最新の議会情報の提供と議会内情報の一元化をはかり、

議会及び議員活動の積極的展開と事務の合理化・効率化を推進するとともに
市民との意見交換などICT技術を積極的に活用するものとして、
以下5点を基本事項とする。

- 1 最新議会情報をわかりやすく提供する
 - 2 議会への市民参加機会の拡大と関心の向上を図る
 - 3 議会活動の積極展開を図る
 - 4 災害時における的確な情報収集・活動を図る
 - 5 事務の合理化・効率化を図る
- ・セキュリティ対策を講じる。
 - ・購入は、首長側の、了解が得られないため政務活動費からという。

以上、視察の報告とします。

*東京に近い議会であり、進歩的である。財政規模はかなり大きく、箕輪町議会として単純な比較はできないが、あらゆるところで、かなり学ぶものがあった。視察した議会としての危機感としては、住民が市政、町政に対する関心度が薄いようで、あの手、この手の改革を必要としているように受け止めた。

勤め先の東京に関心が向いているように受け止められた。地元の選挙の投票率は、40%台とかなり低いようで、東京都議選などの方に関心があるとの報告がありました。

以上のように議会としての危機感は、議員はいらないような声も出ているようです。議会改革が進んでいることは、身に染みてわかる。箕輪町議会として、真似しなくてよいが、参考にして箕輪町議会にふさわしい改革が必要だと思った。

以上

平成29年 8月 24日

箕輪町議会議長 木村 英雄 様

箕輪町議会議員 釜屋美春 印

箕輪町議会（委員・議員）派遣結果報告書

箕輪町議会議員の派遣等実施要領第5条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研修名	箕輪町議会活性化委員会視察
研修の期間	平成29年7月25日～26日
研修の場所	埼玉県 三芳町 ・ 所沢市
成果 (具体的に)	別紙のとおり
委員会名 派遣議員名	荻原省三 小島常男 小出島文雄 中澤清明 釜屋美春 伊藤隆

平成29年7月25日 13:30～15:30
埼玉県三芳町議会視察

○議場コンサート等議場の多目的活用について

・議場でのロビーコンサート実施の経過について

三芳町では、教育委員会（生涯学習課）が文化・芸術を振興のために、町内施設ショッピングモールや老人ホーム等でロビーコンサートを行い、一流の音楽家を招き町民に演奏を披露していた経過があった。

教育委員会から、議場でのコンサートの依頼があったため、町民に議場を訪れる機会を増やし、議会への関心を高める機会になればと、議会運営委員会に諮って決定した。主催は教育委員会が行っており、平成20年から、毎年9月議会のみ開催。午後6時から9時半としている。

・課題として

ピアノ伴奏が必要な場合、搬入出来ないため、電子オルガンで対応している。コンサート向けの会場でないので音響は良いとはいえないが、演奏者に近いので満足感がある。傍聴者は、25年210人。26年113人。27年80人。コンサートが終わると傍聴に残る人が少なく、多くは退場してしまうのが現状。

○夜間・休日議会について

住民の議会傍聴の機会を容易にし、開かれた議会運営と活性化のために開催している。

・休日議会 平成21年3月定例会から実施し、毎年3月定例会中の日曜日に行う。内容は一般会計予算 歳入 歳出 一般質問 のどれかを議会運営委員会で決定し行うとしている。傍聴者は3人～56人。9年間の平均は18人程となっている。

- ・夜間議会 平成20年から、毎年9月定例会において行い、夜間の一般質問の質問者は3人。傍聴者は10人～31人。9年間の平均は21人程。議会傍聴の中継を望む声が多く、YouTube等検討したいとのこと。

○議会報告会(ふれあい座談会)について

- ・かねてから開催している議会報告会を29年度から地域に出かけていく「ふれあい座談会」として、3会場でおよそ2時間行った。
- ・ワークショップ形式を用い、前回まで一部の人の発言に偏っていたが、多くの町民が積極的に発言できた。今後は若い町民が参加できる工夫をしたいとのこと。
- ・町民の意見を集約し、所管の委員会で課題によって議会活動や一般質問等で反映に努める。執行機関が対応すべき意見・要望は議長が申し入れ、必要な対応を求める。後日回答は必要な質問等については質問用紙に記入してもらい、広報公聴常任委員会で検討し、執行側に対するものは議長から回答を求め、議会に対するものは議長から所管の委員会の回答作成を求める。質問者への回答は一括して議長から文書で行う。

○箕輪町に活かしたい視点

※議場コンサートについて

議会への関心を高め、議場に足を運んでもらう努力をされていることは、どの自治体でも同様であるが、芸術文化を高める事業の一環として導入されたことは説得力があると感じる。当町も検討してはどうか。

- ※当町でも議会報告会、議会との意見交換会等開催しているが、さらに広聴を充実させたい。回答が必要な質問は質問用紙で出していただき回答する方法はすぐに実行できると思う。住民が参加しやすい出前型の懇談会を地道の進めて行くことが良いのではと考える。

平成29年7月26日 9:30～11:30

埼玉県所沢市議会視察

○議場の多目的利用について

- ・議会の傍聴を促すことを目的に、議会65周年を記念し議場コンサートを初めて開催した。議会初日、9時から30分間、高校生によるフルート二重奏を行った。今年で2回目とのこと。市内で活躍する音楽家や学生に演奏を依頼し、インターネットで中継、庁舎内のモニターで配信している。概ね好評であり、市内の音楽家や学生への演奏の場の提供との意味から今後も継続していくとのこと。
- ・他にも議場での討論会の開催、また商工観光課が映画撮影の誘致を行い、議場や委員会室をロケーションサービスを行ったこともある。

○住民との懇談会「みみ丸カフェ」について

- ・議会の広聴活動の一環として、年2回ワールドカフェスタイルの市民と議会の懇談会「みみ丸カフェ」を始めた。
- ・テーマを決め、20～50歳代の現役世代を対象に無作為に抽出し参加者を募集。集まった3～4人一組で班を編成、10分毎で人を入れ替えることや、役員が仮装してお茶れするなど、意見を出しやすい環境を創出した。

・ 広聴広聴委員会の活動として「みみ丸カフェ」「議会報告会」「議場コンサート」「政策討論会」等行っている。

○タブレット導入について

予算が確保できていないので導入については、個々の政務活動費を当てている状況。
議員全員がエアドロップという機能を活用して書類や映像を送受信しているとのこと。

○その他の質問 「議会事業評価表」について

所沢市議会基本条例に 第30条(議会評価)・・・議会が実施する事業及び議会改革について毎年度評価を行い、その結果を市民に公表するとともに議会活動に反映させるものとする。とあることから議会事業評価表を作成し公表している。

○箕輪町に活かしたい視点

※議場の多目的活用はこれからの課題として検討して行くよう提案したい。

※議会報告会については、若者・女性や広く町民の意見を聴けるよう、当町においても会場の雰囲気作りなど工夫が必要と感じた。

※議会報告会等で出された意見・要望等の課題を抽出し政策提案できるよう各委員会での検討を充実させたい。

※議会基本条例の検証に於いて、町民に分かりやすく示す方策を検討したい。

埼玉県三芳町議会及び所沢市議会視察研修レポート

箕輪町議会議員 伊藤 隆

1.三芳町議会

町の人口は箕輪町の約1.5倍の38000人で総面積は15.33km²の町である。町内には畑や山林は有るものの田んぼが無い町であった。又町内には鉄道はないが川越市や都心部と直結する東武東上線が走り各駅が利用されていた。

町議会の構成人数は15名で当町と同数でした。4つの会派に分かれていて議員の年齢では70歳以上は0、60歳～69歳が5名、50歳～59歳が5名、40歳～49歳が4名、30歳台が1名と比較的年齢的には若い人で構成されていた。委員会は議会運営委員会が6名、総務常任委員会が7名、厚生文教委員会が7名、広報委員会が8名の構成であった。議会では9月定例会中に夜間議会の開催や、議場開放してコンサートを数回開催したようだが年を追うにしたがって入場者数が減少しているとの報告があった。

2.所沢市議会

市の人口は約344000人で面積は72.11km²の広さで、市の名産は狭山茶で日本3大銘茶の1つである。市議会の構成人数は33名で議会運営委員会12名、総務経済常任委員会8名、健康福祉常任委員会8名、市民文教常任委員会8名、建設環境常任委員会8名、広報委員会10名で構成されていた。

議員の年齢では70歳以上が3名、60歳～69歳が7名、50歳～59歳が14名、40歳～49歳が6名、30歳～39歳が2名、20歳台が1名となっていた。議会では議場を開放して昨年よりコンサートを実施して今年も12月1日に議場コンサートを予定しているとのことだった。又住民との懇談会（みみカフェ 2016）を開催し市民からの意見を議会活動に反映させているとのことでした。